

## 今日のトピック 中国の株式市場の動向

# 株価対策の延長と追加対策を期待する展開

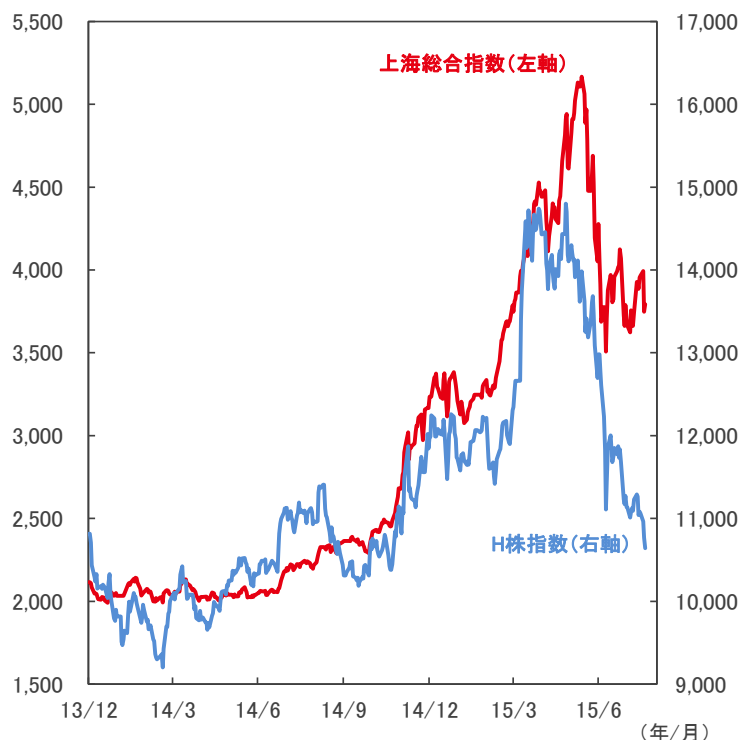
### ポイント1 上海総合指数は小幅反発 香港のH株指数は4日続落

- 上海総合指数は19日、前日比1.2%上昇しました。株価対策縮小懸念から18日に6%強下落した流れを受け、19日午前中は一時5%以上下落する場面も見られました。しかし、午後に入り、政府の対応を見極めたいとの思惑などから、反発して引けました。
- 香港のハンセンH株指数は、前日終値に比べ1.24%下落し、4日続落となりました。

### ポイント2 根強い景気減速懸念が重石 天津港大爆発も投資家心理冷やす

- 上海総合指数は、政府の株価対策を巡り、不安定な動きとなっています。18日に公表された不動産価格に関する統計は、不動産市場の底入れを示唆する内容でした。しかし、景気減速懸念は根強く、株式市場の重石となっています。天津港大爆発や人民元切り下げも投資家心理を冷やしました。
- 香港市場では、本土市場の不安定な動きに加え、米国の利上げ開始への警戒や、原油・資源の価格下落が投資家心理を冷やしています。

(ポイント) 上海総合指数とH株指数 (ポイント)



(注)データは2013年12月31日～2015年8月19日。  
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## 今後の展開 株価対策延長や追加対策を期待する相場展開へ

- 中国の景気減速懸念は、中国のみならず、周辺アジア諸国の株式市場の重石となっています。さらに、人民元の切り下げは、今後これらの国の輸出競争力の相対的な低下につながりかねないことも、市場の売り圧力となっています。
- 中国では、預金準備率引き下げなどの追加金融緩和への期待が高まっています。一方、証券会

社の貸株業務の再開などの株価対策の縮小報道に、投資家は敏感に「売り」で反応し、市場の不安定さが増えています。即効性のある金融政策や財政支出の拡大などにより、景気の下振れ懸念の緩和と一連の株価対策の維持への期待が高まっています。

**ここもチェック!** 2015年08月11日 中国、人民元を切り下げ、輸出振興により製造業強化へ  
2015年07月28日 中国市場の安定は、景気下振れ懸念の緩和がカギ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。